

原口市政 5期目がスタート



7月1日に執行された鴻巣市長選挙において当選した原口市長は、8月1日、5期目として初登庁し、今後の市政運営などについて抱負を述べました。

市長就任のあいさつ

鴻巣市長 原口 和久

このたび、多くの市民の皆様からご支援を賜り、引き続き5期目の市政運営を担わせていただくこととなりました。初当選時と変わることなく、市長としての使命と、その責任の重さに身が引き締まる思いであります。

私は、平成14年に市長に就任して以来、「行政は最大のサービス業」であることを基本に、市民の皆様との協働による、市民参加のまちづくりを進めてまいりました。

これまでの4期16年を振り返ってみますと、平成17年10月の合併、そして、合併後の新たな鴻巣市の「各地域の均衡ある発展」と「速やかな一体性の確立」に向けて、全力で事業の推進を図ってまいりました。

合併から12年余りが経過しましたが、鴻巣駅東口再開発事業をはじめとする三駅の駅前整備や、待機児童ゼロを継続してきた保育所整備、小・中学校校舎の大規模改修や普通教室のエアコン設置など多岐にわたる事業展開に努めた結果、市民の皆様の利便性は格段に向上し、子育て世代の転入者も増加しつつある等、確かな手ごたえ、成果が見えております。

しかしながら、今、人口減少が進行する中、全国の市町村は生き残りをかけて、

この課題解決に向けて真剣に取り組んでいかなければならない時代に突入しています。

そこで、私は、多くの市民の皆様のお力と鴻巣の発展に向けた熱い想いをしっかりと受け止め、明日の鴻巣、未来の鴻巣を創造していく、鴻巣の子どもたち（のすっ子）が、元気に、たくましく成長していけるよう、各種施策を展開してまいります。

具体的には、鴻巣駅東口駅通り地区再開発事業や北新宿・広田の土地区画整理事業等を積極的に推進していくとともに、犯罪のない安全・安心なまちづくりや、結婚から妊娠・出産・子育て期まで切れ目のない継続的な支援、小・中学校の環境整備・学力向上、健康づくりの推進による健康寿命の延伸等を積極的に実施して、魅力あるまちづくりを進めてまいります。

そして、市民の皆様には、「住んで良かった」「これからも住み続けたい」と思っただけで、「心も体も健やかで、安全・安心・暮らしやすさナンバー1のまちこうのす」をしっかりと創造してまいりますので、皆様の変わらぬご理解、ご協力をお願い申し上げます。